



# 06年度給与見直しについて 学習会が開催されました



ほんと厳しいんだな・・・これが

14日(火)くすのき会館にて「給与構造の見直し」について学習会が開催されました。

講師に全大教より小林隆夫氏(室蘭工大)をお招きし、僕たちの給与が一体どれだけ下がるのか、給与の源である運営費交付金はどのような算定で交付されるのか、今後の情勢等など、分かりやすくお話ししていただきました。

僕も組合活動に参加し、いろんな会議等に出てるんで理解は早かったが、改めて考えてみると、なんとも許せない気持ちがこみ上げてくるね。僕の年で大体1000万くらいの生涯賃金の損失。まあ、世の中、景気の浮き沈みがあるんで多少の損失はあるかとも思うのだが、小林さんの話を聞いてみると、給与が上がる要素を感じなくなったのよね。それが・・・「キャリア組・本省組の優遇措置」(本府省手当て)を国が考えているというらしい。# 人勧にはあったのよ。

一般公務員は定員削減で削減され、キャリア組母体が大きくなる。そうすると・・・

1. 国家公務員の平均給与は、また民間よりも高くなる。
2. そうすると民間格差是正の人勧が出る。
3. 大学は「民間格差じゃ、こりゃ不味い」と人勧準拠といって給与を下げようとする。



このままだと大学職員の給与は上がることはなく、ただ下がるだけの構造のようです。いやいや、ホント困ったもんです。それとまだ国には策があるらしいよ。小林さんも「推測」としか言わなかったけど、厳しい時代はまだまだ続くようです。やっぱ、人勧準拠ではなく、熊本大学独自で判断できる組織になるよう、団体交渉で組合が頑張らねえといけないな。それにはやっぱ数(組合員数)がいねえと厳しいかな・・・。

## 編集者のぼやき

前号(25号)のあたりに、14日にもかかわらず、時期はずれの節分イラストを付けてしまった。なぜなら25号は、女性部総会が終わった後すぐに出す予定だったんだけど、24号を出すタイミングとかもあったんで、少しずれたイラストを付けたまま出しちゃったのよね。普通やったらバレンタインにちなんで、チョコレートとかのイラストにするべきだったんだろうけど、誰も気にしないだろうというオイラの判断だったのさ。まあ、どうでもいいぼやきは置いといて、以前「やまくら～ズ型プロジェクトX」って覚えてる?? オイラの微妙な武勇伝。その後にはさあ、次回は「不夜城、命のリレー。大学付属病院看護師の

一日」なんていいかも・・・って書いてたじゃない。それで最近、噂を聞いたんだけど、着々と進んでいるみたいよ。その話。それも編集者のオイラには内緒で・・・。やっぱ看護師さんの厳しい現状をオイラが綴るのではなく、看護師本人に書いてもらうのが効果的だね。執筆している看護師さん、できたら早急に頂戴ね。後はオイラが「プロジェクトX風」に脚色してあげるさ。脚色といっても、あの番組のように嘘を付けて面白くするという意味じゃないよ。まあ、皆さん楽しみにしておいてくださいな。

熊本大学教職員組合青年部機関紙  
やまくら～ズ 発行 No.26 2006/02/21